



さざなみ

第2回男女共同参画セミナー

男女が毎日楽しく過ごす！多様性を生かす「人の心のつかみ方」
～男性の視点からの男女共同参画～ イベントレポート

令和6年度男女共同参画講演会

南極に魅せられて イベントレポート

男女共同参画推進員 活動報告

中台中学校における人権教室との連携事業



EVENT REPORT

第2回男女共同参画セミナー

男女が毎日楽しく過ごす！多様性を生かす 「人の心のつかみ方」～男性の視点からの男女共同参画～

令和6年10月20日(日)に、第2回男女共同参画セミナーを開催しました。今回は、男女平等の重要性を推進していくためにお互いが楽しく過ごせるためのコミュニケーション術を教えていただきました。

今回は、メンタリスト日本一に輝いた大久保雅士様を講師に迎え、ご自身のビジネス経験とメンタリズムを交えながら、お話ししていただきました。近年、多様性や男女共同参画の必要性は高まっています。(SDGsでも目標5:ジェンダー平等に掲げられており、様々な分野に派生していることもあって、すべての国が取り組むべき重要課題の一つとされています。しかし、日本のジェンダーギャップ指数(2024年)は118位と、なかなか進んでいないのが現状です。なぜ、男女共同参画が進まないのでしょうか。

それは、人とは、バイアス(思い込み)と心理的リアクタンス(反抗したくなる気持ち)を持っている生き物だからです。押し付けや、強い言葉では、かえって反発を招いてしまい、人の心を動かすことはできません。思い込みや認知バイアスのずれは、必ずあるもので、なくせないものだという前提で推進していくことが大切だということです。

(自問)することで、自分の思い込みや決めつけに気づくことができます。最後に、男女がお互いの心をつかむには、お互いの思い込みを受け入れることから始めよう、そして、感情的にならず、常に自問・思考し、お互いを思いやる思考習慣を作っていく、と言うプロのメンタリストのお言葉には、会場にいた誰もが、心を動かされたのではないのでしょうか。

(佐瀬推進員)

人の心に注目した、男女共同参画のあり方について学べた貴重なご講演、ありがとうございました。



講師
大久保 雅士さん
メンタリスト・
ビジネス心理コンサルタント

成田市のご出身。保険会社で勤務される中で、人の心を動かす面白さに魅了され、メンタリストとしての活動をスタートされました。それ以来、仕事で得たスキルを生かし、配属店舗の全てを社内トップクラスへ導かれるなど、営業現場で経験を積まれた後、プロのメンタリストに転身し、活躍されております。

現在は、「ビジネス心理コンサルタント」として、さまざまな企業の問題解決に尽力されており、全国100か所以上で講演や企業研修を行われているほか、のべ1万人を指導し、多方面で成功者を輩出されております。他にも、著書に『「8秒」で人の心をつかむ技術』があります。



▲大久保先生の講義に皆さん食い入るように聞いていらっしゃいました。

参加者の声

「夫と妻のやりとり」が、それぞれの気持ちになって分かりやすくなった。隣の人は世代が違う方でしたので、いろいろな方の意見を聞けてよかったです。伝え方を大事にしないで話している人など思いました。ありがとうございました。

特に反抗したくなる気持ち「心理的リアクタンス」。他人から強制されると反発したくなるのは私自身そう思いがちです。正論パンチ気を付けなければと思います。

EVENT REPORT

男女共同参画講演会

南極に魅せられて



講師

原田 尚美 さん

東京大学 大気海洋研究所
国際・地域連携
研究センター 教授

海洋研究開発機構・地球環境部門を経て現職に就かれております。名古屋大学大学院 理学研究科 大気圏化学専攻 博士後期課程終了、博士号(理学)を修得されました。南極地域観測隊は、1991年第33次夏隊と2018年第60次夏隊に参加されております。高緯度域を中心に海底堆積物などに記録されたバイオマーカーを用いた過去の環境を解析する研究を行ってこられました。現在は、北極海や南大洋の海水減少にともなう海洋生物の生産や生態系の応答を明らかにする研究を進められております。令和6年12月から第66次南極地域観測隊長として3度目の南極に挑戦されております。



令和6年11月24日(日)に開催した男女共同参画講演会では、南極地域観測隊長初の女性隊長を務められた原田さんを講師にお迎えし、リーダーとして約80名の隊員をまとめあげた経験をもとに、女性活躍推進についてお話いただきました。

今回、原田様は、第66次南極地域観測隊長として12月5日の出発を控えた大変お忙しい中お越しく下さいました。男女共同参画の視点から原田様の講演会が企画されたのは勿論ですが、研究者としてお話してくださった南極地域(大陸)の調査から導かれる多様な地球の変遷や今回の観測隊の調査目的など、初めて伺う詳細な研究内容には目を見張るばかりでした。

原田様が初めて南極観測隊に参加された時は、女性は過去2人目で公務員であることが資格であったために大学院を辞めて一度は公務員となり参加されたそうです。

その後、一旦は就職先が決まったそうですが、やはり南極地域観測隊の職務に惹かれ研究者を続けることを希望されたのだそうです。原田様が研究者の道を選ばれたのは、



▲原田先生のお話に、みなさん興味津々でした。

南極大陸の調査研究から知ることのできる様々な未知の世界の魅力と共に、その研究を行うための環境や研究成果には性差は無く、目的を一つにするプロ集団の一人であることが快いのではないかと、お話の中から感じられました。

今回、第66次南極観測隊の隊長として観測隊を率いて3度目の南極大陸へ赴くにあたり、アンコンシャスバイアスや女性リーダーへの偏見、また「女性だから」の見られ方を意識し、男性隊長は考えないであろう「女性だからこそ」の視点を念頭に置いた行動を積極的

に行っていられそうです。隊長に選任されてから隊員との顔合わせの度に積極的な声掛けや、トランプシューティングはできるだけ小さなうちになど、気配りを心掛けていらしたそうです。

また最後にこう話されていました。「調査隊の最終方針の決定は、隊長の責務。その信頼関係の構築はできているか隊員には聞いていないけれども、できていると信じて南極へ行きます。厳しい環境ですが、楽しみたい。」

フィールド調査研究にこだわり、一筋に没頭されてきた原田様が大変頼もしく、誇らしく思いました。これから女性も男女共同参画の延長線上で「好き」「や」と興味を追求する姿が認められ活躍されることを願っています。大変心に残る講演でした。

(中村推進員)



活動報告

中台中学校の人権教室で啓発活動を行いました！

令和6年12月11日(水)に、中台中学校で開催された人権教室にて、男女共同参画推進員が男女共同参画社会の推進について啓発活動を行いました。

当日は、園川推進員と勝見推進員が登壇し、中台中学校の生徒のみなさんに、男女共同参画の重要性や性の多様性について、お話いただきました。

in 中台中学校



▲登壇する園川推進員(左)と勝見推進員(右)

お知らせ

男女共同参画センターに遊びに来ませんか？

男女共同参画センターは、「男女共同参画社会」の形成を推進するための自主的な学習及び活動の拠点施設として設置しています。

どなたでもご使用いただけるミーティング室の他、会議室、活動室、多目的室などの貸出施設もごございます。貸出施設を使用するには事前の登録が必要です。登録は「認定団体登録」「団体使用登録」「個人使用登録」の3種類となっています。

詳しくは、市民協働課までお問い合わせください。
(TEL 0476-20-1507)



ミーティングルーム



会議室

コラム

「SOGI」って聞いたことありますか？

●LGBTQとは違う、SOGI～性的指向と性的自認～

「Sexual Orientation」の“SO”……性的指向、自分の恋愛対象がどの性別に向くか、向かないかを表しています。性的指向は男性から女性、女性から男性、女性から女性など多様です。

「Gender Identity」の“GI”……性自認、自分の性をどのように認識しているかです。自分を男性と認識しているか、女性と認識しているか、どちらにも当てはまらない、などです。

この二つを組み合わせると「SOGI(ソジ・ソギ)」と表現します。

●「LGBTQ」から「SOGI」へ

LGBTQはレズビアンやゲイといった性的マイノリティの方を表現していますが、少数、多数に関係なく、すべての人の性的指向や性自認の多様性を表す言葉としてSOGIへ切り替わってきています。

募集中!!

令和7年度 成田市男女共同参画推進員募集

「男女共同参画社会」と聞くと難しいイメージですが、言い換えると「誰もが自分らしく輝き、お互いを思いやることのできるまちにしていこう」ということです。

男女共同参画講座の運営・開催、情報誌の作成など、「なにかできることはないかな……」「なにか活動したいな……」と思っている方、ぜひ一緒に活動しませんか？

◆応募資格 ① 市内在住の18歳～74歳の方
(令和7年4月1日現在)

② 講座の企画運営など月1回程度参加できる方

◆募集人員 10人(応募者多数は選考)

◆任期 令和7年4月1日～令和8年3月31日

◆応募締切 令和7年2月25日(火)必着

◆応募方法 申込書(ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入し、持参・郵送・Eメールのいずれかで市民協働課へご提出いただくか、下のQRコードからもお申込みいただけます。

【応募先・問い合わせ】

成田市市民協働課 (0476-20-1507)
〒286-8585 成田市花崎町760番地
Eメールkyodo@city.narita.chiba.jp



申込フォームはこちら